

## ジェーンズ邸再建支援について

明治学院学院牧師

和田 道雄

震度 7 という空前絶後の熊本地震によりジェーンズ邸が崩落しました。その昔この建物は古城跡にあって県庁、熊本洋学校、熊本医学校などとともに輝いていました。横井時雄や海老名弾正がキリスト教をここで身につけた建物であり、札幌の時計台とともに日本のキリスト教発祥を象徴する建物です。それから数年後の西南戦争では政府軍の本営となりましたが、征討総督有栖川宮熾仁親王殿下が佐野常民に、日本赤十字社の前身である博愛社の設立許可を与えた舞台となり、日本赤十字社発祥の記念すべき建物です。ジェーンズ邸は明治初期の息吹を今に伝える重要な歴史遺産でした。ところが写真のように全壊してしまい、嘗ての容姿はすべて失われてしまいました。

県の文化財であるのですが、あまりにも全壊の状況が厳しく、再建困難との声も聞こえてきています。現在はブルーシートがかけられ、雨露を防いでいる状況ですが、建物もですが、貴重な資料が埋もれたままの状態にあり、早急な対応を必要としています。

ジェーンズの会では、プレハブを建て、全壊したすべてのものに番号をつけ、整理をしながら収容することを考えています。しかし、人道支援が優先される中、復興予算がすぐにつけられる状況ではありません。しかし、梅雨を前にして、これ以上、すべてのものが傷むことを何とか防がねばなりません。今回の皆様からご支援いただきました募金は、ジェーンズ邸復興資金の義捐金としてお送りさせていただきます。

